

【典型的な臨床倫理的問題への確認事項一覧表】

依頼の要素	具体的状況	確認事項	具体的な助言内容
患者が意向を表明できない状態である	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工呼吸器の装着中</li> <li>鎮静中</li> <li>脳血管障害</li> <li>悪性腫瘍の終末期</li> <li>認知症の進行</li> </ul> など	事前の意向の確認 (#1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前の意向が分かる、事前指示書 (AD) などの文書化されたものがあるか？</li> <li>過去に ACP が為されているか？ ACP を実施した際に情報を共有したのから情報は得られるか？</li> <li>患者の意向を推定できる、過去の具体的なエピソードがあるか？</li> </ul>
		代理判断者の確認 (#2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者の意向を推定することができる家族などがあるか？</li> <li>内縁関係などであっても患者の意向を推定するのに十分であると判断できるか？</li> <li>対立などの理由で患者に不利な判断をする可能性はないか？</li> </ul>
		身寄りがない場合 (#3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いないと判断する前に十分探したか？</li> <li>医療者で方針を決める場合、多職種で検討会を開催したか？</li> <li>患者を知っている訪問看護師やケアマネージャーなどが (代理判断者とは言えなくても) 検討会に参加してもらうことは出来るか？</li> <li>カルテの記録を十分に行っているか？</li> </ul>
患者の理解力が十分でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎮静中</li> <li>脳血管障害</li> <li>悪性腫瘍の終末期</li> <li>認知症の進行</li> <li>精神疾患</li> </ul> など	理解力低下の原因の確認 (#4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>せん妄、認知症などの疾患があるか？</li> <li>精神科、脳神経内科など、専門医へのコンサルトを行っているか？</li> <li>理解力の低下は可逆的か？ (高 Ca 血症、低 Na 血症、脳腫瘍、などの治療による回復が可能な状態ではないか？) 理解力の低下が可逆的な場合、方針の決定は待てるか？</li> </ul>
		理解の程度に合わせた説明、アセントの確認 (#5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書・図を用いて説明し、手渡したか？</li> <li>患者の理解力に応じた説明をしたか？</li> <li>患者の理解に適した時間帯や状況などがあればそれに合わせて説明を行っているか？</li> <li>患者の意向を複数回確認したか？</li> </ul>
		事前の意向の確認 (#1 と同じ)	

関西医科大学総合医療センター  
令和2年12月 臨床倫理委員会

依頼の要素	具体的状況	確認事項	具体的な助言内容
(つづき)		代理判断者の確認 (#2 と同じ)	
		身寄りがいない場合 (#3 と同じ)	
治療の差し控え、中止を希望している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪性腫瘍の進行期</li> <li>・心不全、神経難病、呼吸不全の進行期</li> <li>・重度の脳血管障害など</li> </ul>	終末期の確認 (#6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患や進行度の診断は確定しているか？</li> <li>・医療情報は十分得られているか？</li> <li>・専門医へのコンサルトを行っているか？</li> <li>・予測される予後はどれ程か？</li> </ul>
		意向の確認 (#7) (#4,#5 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患や予後の説明を理解しているか？</li> <li>・治療の差し控え、中止による影響を理解しているか？</li> <li>・理解力低下の可能性はあるか？</li> <li>・文書・図を用いて説明し、手渡したか？</li> <li>・患者の意向を複数回確認したか？</li> </ul>
		家族の意向の確認 (#8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族は治療拒否を知っているか？</li> <li>・家族内で意見の対立があるか？</li> </ul>
		患者が意向を表明できない状態での家族の申し出の場合、患者の推定される意向の確認 (#9) (#1,#2 参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AD、ACP などを確認し、それらの内容に沿ったものであるか？</li> <li>・家族自身の利己的な理由（経済的理由など）ではないか？</li> <li>・対立などの理由で患者に不利な判断をする可能性はないか？</li> </ul>
医療者の勧め る医療を拒否 している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術、輸血、薬物治療、様々な侵襲的医療処置など</li> </ul>	拒否の理由の確認 (#10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療者の説明を理解しているか？</li> <li>・「なぜそのように思うのか」十分に聞いたか？</li> <li>・職種による話しやすさを考慮したか？</li> <li>・家族が一緒の場では、患者の本心が言えない可能性はあるか？ その場合、患者単独で話を聞いたか？</li> </ul>
		理解力の確認 (#4 と同じ)	
		理解の程度に合わせた説明の確認 (#5 と同じ)	
		家族の意向の確認 (#8 と同じ)	